≪ 競技運営上の注意事項 ≫

1. 大会ルール

- ① 本大会は、(公財)日本バレーボール協会制定のビーチバレーボール競技規則による。
- ② コートの広さは8m×16mとし、ネットの高さは次のとおりとする。 〇一般の部 2.43m 〇小学生男女の部 2.00m 〇中学生男女の部 2.15m
- ③ コート内の選手構成は、男女混成(男子2名、女子2名)、小学男女は6名、中学男女は4名で行う。
- ④ 試合開始前にジャンケンで下記のいずれかを選択する。〇サービスをするか、サービスを受ける 〇コート
- ⑤ タイムアウトは1回、30秒間とする。
- ⑥ ポジションはフリーポジション制とし、ポジションに関する反則はない。
- ⑦ サービスはコート内の選手が順番通りに打つ。
- ⑧ 小学生の部においては、サービスをコート内から打つことを認める(アンダーサーブのみ)
- ⑨ サービスされたボールがネットに触れても反則ではない。また、サーブの試技は許されない。
- ⑩ 指を用いたオーバーハンドパスでのサーブレシーブは反則とする。ただし、小学生および中学生の部はその限りではない。
- ① ティップレー(平手でのフェイント)は反則とする。ただし、小学生および中学生の部はその限りではない。
- ① ブロックは1打と数え、合わせて3回以内に返球しなければならない。ただし、小学生および中学生 の部はその限りではない。
- ③ 選手交代はリベロ方式とし、ラリ一間に速やかに交代すること。
- (14) コートの交替

予選グループ戦 両チームの得点合計が5の倍数(例 2対3、4対6、7対8····)の時に コートの入れ替えを行う。

決勝トーナメント戦 両チームの得点合計が7の倍数(例 4対3、8対6、12対9…)の時に コートの入れ替えを行う。

2. 試合方法

- ① 予選グループ戦の後、決勝トーナメント戦を行う。
- ② 勝敗が同じの場合は、得点率(総得点÷総失点)で上位を決定し、決定戦は行わない。 得点率が同率の場合は、直接対戦で勝利したチームを上位とする。 直接対戦がない場合は、チーム代表のジャンケンで決定する。
- ③ 試合形式はラリーポイント制とし、下記のとおりする。予選グループ戦 15点1セットマッチ(17点打切)

決勝トーナメント戦 21点1セットマッチ(23点打切)

3. 審判について

- ① 審判及び点示
 - 〇予選リーグ戦および決勝トーナメント戦の第1試合の審判は、本部より割当されたチームが行い、 以降そのコートの前の試合で負けたチームが行う。
 - ○試合終了後、試合結果記録を本部へ報告する。

※試合の進行状況等により変更もありますので、大会本部の指示に従ってください。